

只見町の広報員

ふるさと大使に委嘱状を交付

おもに首都圏で只見町のPR活動などをおこなって頂く「ふるさと大使」に10月1日、只見町役場で委嘱状を交付しました。

現在、只見町のふるさと大使は8名おり、ほとんどの方が今期で3年目を迎えます。委嘱状交付後には大使それぞれの1年間の取り組みを活動報告として発表して頂き、その中では大使から町への事業提案なども行われ充実した意見交換を行う事ができました。



▲大使の皆さんへ今後も町のPRなどの協力をお願いする目黒町長

八十里越道路の進捗状況を

新潟県側から確認

10月5日、三条市が主催する八十里越体感バス事業に只見町民約20名が参加し、新潟県側から八十里越道路の進捗状況を確認しました。

参加者は、県境の9号トンネルまで続くトンネルや道路の進捗状況をガイドからの説明を受け確認していました。

また現在、八十里越道路工事の進捗状況が分かる看板が、歳時記念館と湯らりに設置してありますのでご覧下さい。



▲三条市のバスを降り現地確認する参加者の皆さん

明和小学校で

県小学校教育研究理科大会

10月16日、明和小学校で福島県小学校教育研究理科大会が行われ県内から多くの先生方が子ども達の授業を見に来られました。

この日行われた公開授業は3年生と5年生の理科の授業で、子ども達も多く先生方に見守られる中で授業で緊張したと思いますが、一人一人がしっかりと自分の考えを発表し、一生懸命勉強に取り組む様子を見せてくれました。



- ①3年生は太陽とかげの動きについての授業が公開されました
- ②5年生は流れる水の動きについて体育館で実験を行いました

講演会では素数の年に大発生するセミの特異な進化などが紹介されました



▲研究発表に耳を傾ける参加者

おもに関東地方の生態学を志す人々の集まりである虎ノ門生態学研究会の学習勉強会が10月11〜13日にかけて只見町内で行われました。初日に行われた公開講演会には町民なども参加され、吉田智弘氏（農工大）や吉村仁氏（静岡大）が生物多様性について講演し、河原崎ブナセンター事務局長からは只見の自然環境とセンターの活動が紹介されました。12日の研究発表会では白熱した議論が展開され、最終日には参加者で癒しの森を歩き充実した勉強会となったようです。

只見町で

虎ノ門生態学研究会の合宿勉強会

只見振興センター

基本構想説明会を開催



▲若年層を対象にした16日の説明会

10月16日と23日に只見振興センターで、今後建設を予定している只見振興センターの基本構想説明会を行いました。昨年から検討した結果をまとめた基本構想の概要版を基に説明を行い、参加者から意見を求めるや、旧只見中学校の再利用についてや、利用者が今必要としている施設についてなどの発言があり、活発な意見交換が行われました。今後も只見振興センター建設に伴う懇談会を予定しており、開催日はおしらせばんに掲載予定です。

固定資産評価審査委員

菅家三雄さん(只見)



▲町長室で辞令を受ける菅家さん

10月2日、只見町役場で菅家三雄さんに只見町固定資産評価委員会委員の辞令が交付されました。固定資産評価委員会は、町とは独立した中立的・専門的な立場で固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査決定などを行います。菅家さんの任期は平成26年10月1日から平成29年9月30日までの3年間です。

人権擁護委員

渡部 等さん(小川)



▲渡部さんの任期は平成29年9月30日までの3年間です

平成26年10月1日付けで渡部等さんが只見町担当の人権擁護委員として法務大臣から委嘱を受けました。人権擁護委員は、全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行う町民の皆さんにとって一番身近な相談相手です。